

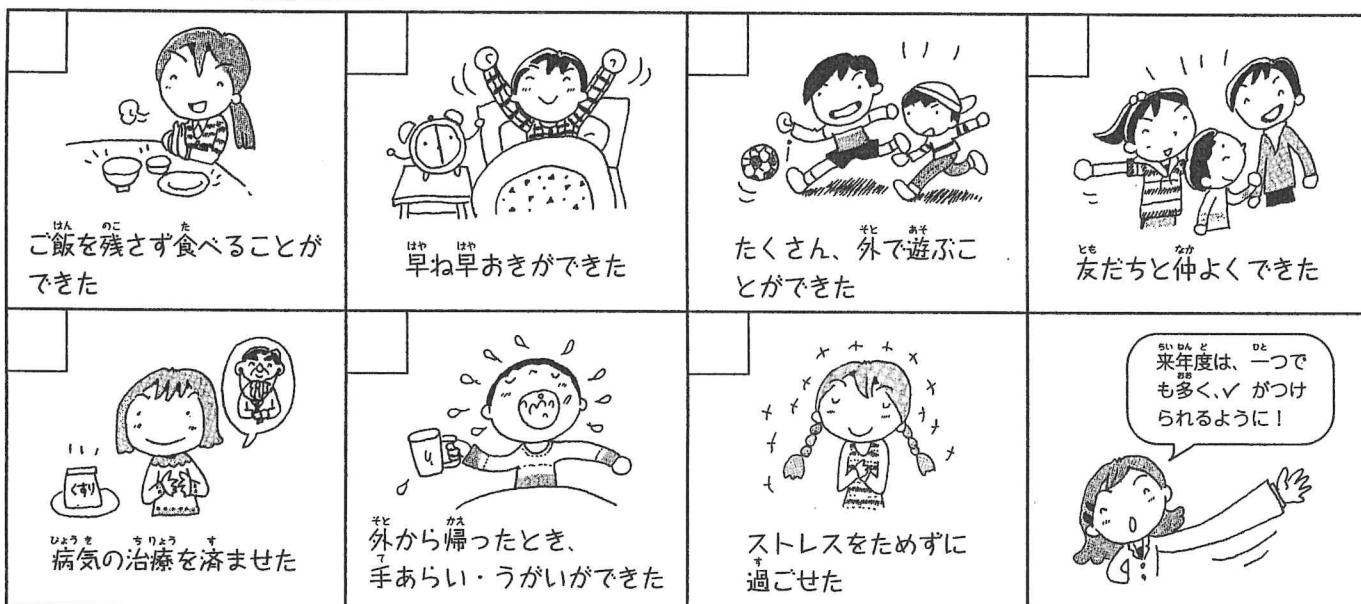


令和7年3月21日 練馬区立春日小学校長 後藤京子
養護教諭 古山早苗

3学期は、インフルエンザや胃腸炎の流行を心配していましたが、大きな流行なく過ごせました。ご家庭において、体調がいつもと違う場合に登校前に様子をみていただいたり、早めに受診していただきなど、適切な対応をしていただいている様子が伝わります。ご協力ありがとうございました。

1年間を振り返ってみよう！

今年度の1年間を振り返って、できたものに✓をつけよう！



1年間の振り返り・・・保護者編

生活面

- ①「朝7時までに起きる」子どもの起床支援ができましたか？
- ②朝食に「成長期の子どもの体」と意識し、バランスのよい食事を適量準備できましたか？
- ③毎朝、「いってらっしゃい」と、気持ちよく学校へ送りだしていましたか？
- ④帰宅時間や就寝時間、テレビ・ゲーム・携帯電話などのルールを子どもと確認し、生活させていましたか？
- ⑤家の仕事を1つ2つ決めて年間を通して、責任をもってやり遂げさせましたか？

精神面

- ①子どもに「努力しても無駄だ」という思いをいたかせてはいないですか？
- ②子どもの行動の露払いをしていませんか？
- ③子どもにマイナスの評価をしていませんか？
- ④子どもに同時に多くの課題を与えていませんか？
- ⑤子どもの欲しい物を何でも買ってあげていませんか？



卒業していく6年生へ

みんなの旅立ちの日が近づいてきました・・・。ちょっと寂しいです。
でも「おめでとう！」4月から、みんながいいスタートをきれますように・・・



「誰かに話せる…」という癒し

現代はストレスの多い社会と言われ、ほとんどの人が何らかの悩みを抱えて生きています。

とくに思春期をむかえたみなさんは、体のこと、心のこと、将来のこと、人間関係のこと、様々な悩みを抱えていることでしょう。悩みがないという人は単に

ラッキーなだけで、あるのが当たり前と言っていいのかもしれません。

でも、その悩みや心配ごとが、気になって仕方ない、耐えられないほど辛いという人は、ぜひ保健室に相談にきてください。

もしかしたら適切なアドバイスはあげられないかもしれません。でも、誰かに話すことによって、その悩みや心配ごとを「誰にも話せない深刻な悩み」から「人に話せる程度の深刻な悩み」へと、気持ちの上で変えることができるかもしれません。不安な気持ちがトーンダウンしてちょっと気分が晴れれば、ポジティブに問題に取り組むこともできますね。

自分の中だけに不安な気持ちをためこんでしまっては、それが気になって勉強や部活動、趣味、友人関係まで手につかないこともあるでしょう。誰かに「相談する」という行為」自体が、不安の悪循環をたちきってくれることもあるのです。

家族や友人に話しづらいというときは、ぜひ保健室の存在を思い出してくださいね。

おうちの方へ

春休み中に治療を済ませましょう！

健康診断の後、むし歯などの治療が必要であるという連絡を受けて、まだ治療に行っていない場合は、春休み中に治療を済ませてください。

A black and white illustration of a dentist wearing a mask and gloves, examining the teeth of a patient who is reclining in a dental chair.

「脳貧血」「貧血」どう違う？

卒業式・修了式では、体調不良としてめまいや立ちくらみなどがよく見られます。こうした症状は「脳貧血」とよばれますですが、言葉が似ていても一般的な「貧血」とは異なるものです。

【脳貧血】立った姿勢が続いている血液が脳に行き渡りにくくなり、供給が一時的に不足することなどで起こります。

【貧血】血液に酸素が十分に含まれていないために、体内の各器官に酸素が行き渡らず、さまざまな機能が損なわれる状態をさします。